

地域連携教育研究

第9号

2024年3月

京都大学

学際融合教育研究推進センター

地域連携教育研究推進ユニット

目次

論文

京北地域で地域交流する中高齢者の健康状況と困りごとに関する調査（共著）	…………… 1
酒井 浩 二	
高野 拓 樹	
宮原 佑貴子	
金 治 宏	
谷 本 寛 文	
呉 鴻	
高 見 茂	
社会教育官のプロソポグラフィ	…………… 15
—社会教育行政ネットワークの消長—	
惣 脇 宏	
小学校国語科における個別最適な学びと協働的な学び	…………… 29
山 下 敦 子	
シンガポールの就学前教育における「社会」とのつながりの実態	…………… 43
—「Discovery of the World」という学習領域に焦点を当てて—	
李 霞	
地域における高等教育改革のアクターとしての大学コンソーシアム	…………… 57
—地方公共団体・産業界との連携の視点から—	
柴 恭 史	
脱炭素化コミュニティにおいて学校施設が果たす役割の検討	…………… 71
—仮想発電所（VPP）・マイクログリッドの先駆的事例を参照して—	
西 川 潤	

研究ノート

「テーマ」をベースに英語使用タスクと言語練習活動を組み合わせる自作単元作成方法 湯川 笑子	83
ブラジルの市民軍学校における生徒指導と道徳教育 田村 徳子	91
台湾における AI 時代に対応できる人材育成策に関する比較考察 —「AI 教育 X AI 教育」戦略を焦点にあてて— 廖 于 晴	99
公職選挙法改正後の「主権者教育」の定義に関する再検討 —「主権者教育」と「シティズンシップ教育」との関係性に着目して— 岡 澤 節	105
彙報	112
投稿規定	114

年報『地域連携教育研究』第9号投稿規定

2023年07月12日(水)

年報『地域連携教育研究』編集委員会

2024年3月に年報『地域連携教育研究』第9号の発行を予定しています。執筆を希望される方は、別紙『地域連携教育研究』執筆エントリーシート)にご記入の上、件名「年報執筆希望」として年報編集委員会 (unitnenpo@gmail.com) までメール添付でお送り下さい。

エントリーの締め切りは2023年9月15日(金) 17時です。

投稿者は、下記の編集規定をご一読の上、投稿規定にしたがって執筆を行ってください。

《編集規定》

1. 本誌は京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの機関誌として、原則として毎年度発行する。
2. 本誌には、「研究論文」、「研究ノート」のほか、本ユニットの実践活動に関する記事等を編集掲載する。
3. 「研究論文」は、学術論文としての水準を満たすものとする。「研究ノート」は、「研究論文」に馴染まない「実践報告」「文献紹介」「海外の事例紹介」「時事評論」等を内容とする。
4. 本誌の編集のために編集委員会をおく。
5. 本誌に論文等の掲載を希望する者は、所定の論文投稿規定に従い、原稿を編集委員会に送付するものとする。
6. 投稿された論文等の掲載は、レフェリーによる査読を経て編集委員会が決定する。
7. 掲載される論文等について、編集委員会は若干の変更を加えることができる。ただし、内容に関して重要な変更を加える場合は、執筆者との協議を経るものとする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は本ユニットに帰属するが、執筆者が自己の著作物を利用する場合には、本ユニットの許諾を必要としない。採択された論文等はオンラインで公開される。
9. 論文等の印刷に関して特別の費用を必要とする場合は、執筆者の負担とすることがある。

《投稿規定》

『地域連携教育研究』への投稿者は、次の規定に従う。

1. 投稿者は、(1) 京都大学大学院教育学研究科比較教育政策学講座の構成員(教授、准教授、講師、助教、大学院生および研究生)、(2) 京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの構成員(教授、准教授、特定教員、特任教員および研究員)、(3) (1) または (2) に該当する者以外で、編集委員会が特に委嘱または承認する者。
2. 「研究論文」は単著論文と共著論文を選択することができる。「研究ノート」は原則上、単著のみとする。「研究ノート」の共著を希望する場合は編集委員会までお問い合わせください。

3. 第一執筆者としての投稿は、論文、研究ノートそれぞれ1本のみを上限とする。例外として、他の者を第一執筆者とし、第二執筆者以下で執筆する場合は、論文、研究ノートを問わず2本目の参加が認められる。ただし、その場合も2本を超えて執筆することはできない。
4. 「研究論文」および「研究ノート」は未発表のものに限る。ただし、口頭での発表およびその配布資料については、その限りではない。
5. 投稿者は、論文原稿の執筆に当たり、次の規定に従う。
 - (1) 論文原稿は横書きとし、ワープロソフト（Wordまたは一太郎）で作成する。
 - (2) 表題、副題、執筆者名、本文、見出し、図、表、注、引用文献を含めて、単著論文の場合は12頁以内、共著論文の場合は24頁以内、研究ノートの場合は6頁以内とする。
 - (3) ページ設定を、余白「上30ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリ」、46字×37行とすること。
 - (4) 表題、副題、氏名に7行をとり、本文は8行目から始める。
 - (5) 表題は中央寄せ、明朝体14ポイント、副題は中央寄せ、明朝体12ポイント、執筆者名は右寄せ、明朝体12ポイント、本文は両端揃え、明朝体（和文）またはCentury（欧文及び算用数字）10.5ポイントとする。見出し、図、表、注、引用文献に関する書式は任意とする。ただし、図及び表は、(3)の余白指定に従うこと。
6. 投稿者は、論文原稿等の提出にあたり、次の規定に従う。
 - (1) エントリーの締め切りは、2023年9月15日（金）17時とする。共著論文の場合は、第一執筆者が代表してエントリーシートを提出すること。
 - (2) 論文原稿等の提出締め切りは、2023年11月24日（金）17時とする。提出物には以下の4点が含まれる。①論文原稿、②英語による論文題目、執筆者名・所属、③英文要旨（46字×18行）、④英文要旨を日本語に訳したもの。
 - (3) 論文原稿、英文要旨、英文要旨を日本語に訳したものは、執筆者に関する情報の匿名化を行った上で、期日までに、年報編集委員会（unitnenpo@gmail.com）にメール添付のPDF、Word形式で提出する。
 - (4) エントリー以降の題目変更は原則として認めない。題目（英文表記も含む）を変更する場合には、必ず迅速に、編集委員会まで申し出てください。

年報『地域連携教育研究』第9号 編集委員会

編集委員長

高見 茂 (京都光華女子大学・短期大学部 学長
京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任教授)

編集委員

杉本 均 (京都大学 名誉教授・仏教大学 教授)
南部 広孝 (京都大学大学院教育学研究科 教授)
服部 憲児 (京都大学大学院教育学研究科 教授)
開沼 太郎 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

英文校閲

井上 幸 (通訳・翻訳)

編集担当

中村 文美 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 編集担当)

執筆者紹介

高見 茂	京都光華女子大学・短期大学部 学長
谷本 寛文	京都光華女子大学 こども教育学部 教授/副学長
酒井 浩二	京都光華女子大学 キャリア形成学部 教授
高野 拓樹	京都光華女子大学 キャリア形成学部 教授/学部長
宮原 佑貴子	京都光華女子大学 キャリア形成学部 講師
金 治 宏	京都光華女子大学 キャリア形成学部 准教授/学科長
呉 鴻	京都光華女子大学 キャリア形成学部 講師
惣 脇 宏	京都産業大学 現代社会学部 客員教授
山下 敦子	神戸常盤大学 教育学部 教授
李 霞	追手門学院大学 共通教育機構
柴 恭 史	桃山学院教育大学 人間教育学部
西川 潤	京都光華女子大学 健康科学部 講師
湯川 笑子	立命館大学文学部 教授 ／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任教授
田村 徳子	京都先端科学大学 准教授
廖 于 晴	台湾国立台東大学 教育学部 助教授
岡 澤 節	京都大学大学院 教育学研究科 修士課程 1 回生

(掲載順)

地域連携教育研究 第9号 (非売品)

2024年3月15日 印刷

2024年3月19日 発行

編集・印刷 京都大学学際融合教育研究推進センター
地域連携教育研究推進ユニット
京都市左京区吉田本町 (〒606-8501)
TEL 075-753-3014

Journal of Education and Research for Regional Alliances
Vol. 9

CONTENTS

Article

Research on the Health Condition and Problems of Middle-Aged and Elderly People Interacting with the Community in the Keihoku Region

Koji SAKAI, Hiroki TAKANO, Yukiko MIYAHARA, Hiroshi KANAJI,
Hirofumi TANIMOTO, Kou GO, Shigeru TAKAMI 1

Prosopography of Supervisors for Social Education: Trends in Network of Social Education Administration Hiroshi SOWAKI15

Personalized and Collaborative Learning in Japanese Language Classes in Elementary Schools Atsuko YAMASHITA29

The Actual Situation of Connections with “Society” in Singapore's Preschool Education: Focusing on the Learning Area of “Discovery of the World” Xia LI43

University Consortium as an Accelerator of Higher Education Reform in Communities: From the Perspective of Collaboration with Local Governments and Industries Takafumi SHIBA57

Examining the Role of School Facilities in Decarbonized Communities: with Reference to the Pioneering Case of Virtual Power Plants (VPPs) and Microgrids Jun NISHIKAWA71

Notes

How to Create Original English Teaching Units Integrating Appropriate Tasks and Language Practice Activities based on a “Theme” Emiko YUKAWA83

Student Guidance and Moral Education in Civic-military Schools in Brazil Noriko TAMURA91

A Comparative Study on Human Resource Development Strategies for the AI Era in Taiwan: Focusing on “AI Education X AI Education” Yu-Ching LIAO99

Reexamination of the Definition of “Shukensha Education” after the Revision of the Public Offices Election Act: Focusing on the Relationship between “Shukensha Education” and “Citizenship Education” Setsu OKAZAWA105

Miscellaneous
